

地下水の時代

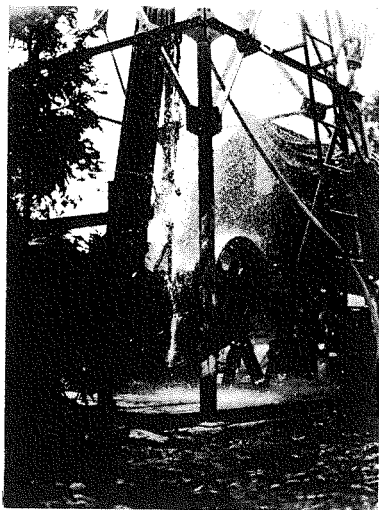
株式會社利根地下工業研究所 市 川 豊

今春來の旱魃で、すっかり水不足を宣傳されて來て遂に、東京市も水道の時間給水の餘儀無きに達著し、漸く地下水の汲揚を騒がれる様に成りました。井戸は非文化時代の遺物だ、非衛生的存在だ、と云われて盛に埋戻しさせられたものですが……旱魃時の水補給方法は地下水を探るより他に途が無い、狡兎死して良狗煮られ、飛鳥つきて良弓藏せらると云ふのは、かつては有用であつたものが、用がなくなれば閑却される世態を嘆じた文句であるが、時代の井戸も丁度時來つて俄に有用のものとなつて世は正に地下水の時代と成りそうです。之は必ずしも井戸を意味しない、水道の水源用とし、灌漑用としてである。地表水は近い將來にきつと水力發電に殆どを向けられ、燃料問題は之に拍車をかけるだらうからであります。

試錐機も産業開發の重大使命の許に益其の巨歩を延し、今や又地下水の探査にも一線に立つて活躍をして居りますが、次の寫眞は試錐機に依り鑿井し、壓縮空氣にて揚水中の光況であります。(試錐機利根 R・L・500型) 以上

1. 工事ヶ所 東京市目黒區 目黒茶寮
2. 工事年月 昭和十五年六月八日ヨリ 同十五日マデ
3. 使用動力、設備 10HP電動機、三國式24呎³/分コンプレツサ
4. 水量、水質 水量150ton/Daiニ825石/日 水質 無色透明 中性
5. 設備及工費 掘鑿設備 10HP電動機ニテ利根式 R.L.500型 試錐機ニ依リ 100m・m. フィツシユテールピツト 掘鑿設備 揚水管 1.1/2吋φ瓦斯管80m押入 空氣管3/4吋φ瓦斯管78m押入 工 費 本回特殊事情のため不明なるも揚水設備まで一式にて ¥2,000位
6. 備考 揚水試験の場合「コンプレツサー」に懸る壓力状態は初壓 75#/分、常用壓 50#/分(ドロツプ 25#/分)

寫眞一・ 目黒茶寮の地下水工事



寫眞二・ 目黒茶寮の地下水噴出狀況

